

常磐每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 五號 十二字 第一行 金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

伊藤公三

ビスマルク

官僚政治と政黨政治
堀切 善兵衛

(三)

要するにビスマルクは史上稀れに見る偉大なる政治家でカイザーの爲に闘り、獨逸帝國の爲めをはかつて至らざるところなきの概を示したが、自分の後繼者を求むる途に就いては全然心掛けては居なかつた。されば其晩年一度冠を懸けて野に下るや寧ろ彼れは自分の行ひ來つたことが果して正しかつたか、何うかについて非常に疑ひ、且つ煩悶した形式さへある。何となれば彼れはほんの末だ子供と思ふてゐたウイリアム世と意見が合はないで辭職して野に退くの外なきに至

ノート

印度西藏間に横るヒマラヤ連山の長さは我國の北海道九州間に等しく、幅も略我國と同じ位とは成程大きい
つたが、如何に老宰相の威勢を以てしても彼が多年の努力に依りて構え上げたカイザーの権力には抗する

能はず、不承無承に自ら退いて若きカイザーの爲すが儘を見て居る外なかつたのである。然し若きカイザーのやることは事毎に感心出来ぬ、不安で堪らないことばかりであつた。その一例を挙げると、日清戦後の三國干渉なども夫れで、

- 【朝】味噌汁——豆腐小付 ふくませ
- 【書】玉菜 油揚げ煮びたし
- 【晚】チキンライス 果物

スマルクが三國干渉に大反對であつたことは、其の回想録にも明記してある。然ういふ調子で、何分にもカイザーのやることは、不平で、或る批評家はビスマルクが十年も若ければ、社會民主黨に入つて議會に出てカイザーを眞ツ向から攻撃したらうと、批評してゐる位である。實際彼れは自分の造つた偉大なるカイザーの權威に對し、不平と不安とに充たされて、墓地に入つたやうに想はれる。

幼きものゝ死
吉田 揚平
晩秋のうす日が枯れ草の

上に流れて
墓碑の蔭に倒れて居る
死際の小鳥の胸毛に顫ひつゝ光つてゐる

幽かな方のない呼吸を續ける毎
腹の鼓張を共に
暗い哀愁が動く
そして折々苦し氣な羽撃をして倒れた
茅の葉づれの果敢ない音に
小鳥は細いひとみを開いて
蒼々とした限りない空を眺めたが
その儘終に冷たくなつて
深い眠りに落ちて行つた

黄昏前の冷たい風に
黄い蔓草の實がほろ／＼と
邊りにこぼれる
沈み行く弱い光りが
再び艶の褪せた羽に漂う
又一しきり冷ややかな風が
さら／＼と野末を渡つた
俳句
秋晴れの空に樂隊ひびき
けり
秋風に落つる木の葉や冬
近し
秋惜む空に囀る百鳥の
聲

新築 落成移轉

永らく御不自由相掛け申し上げて居りましたが此度漸く落成移轉致しました。何卒倍舊の御引立の程御願申上げます。尚新舖二階の客間は御會食御家族同伴等江戸前式に設備致しました何卒御利用下さい。
平三(舊店舖跡)
玉壽司
電五七五番

各婦人雜誌推獎
S式高速度編物器
編物講習會 自十月二十一日(五日)間
至同 二十五日(五日)間

會費 一圓
講師 大日本編物研究會
松井富美子先生
會場 平田町(電話一四番)
ハシモトヤ糸店階上
— 上品な副業として収入を望まれる
— 受講生には編物の御世話致します —

越前 是是非非會館へ
獨特な奉仕献立
紅茶 一〇
二品料理 二〇
ランチ 五〇
御宴會 御集會 御相談次第
平會館
電話五七五

外科 X 光線科
性病科
外科科
安齊外科醫院
平田町
電話四七五番

豫て御高評を蒙り居り候江の島料理本店自慢の水たき相始候間一層の御評判被下度候
尚ほ季節料理として松茸料理も種々仕可候へば宜敷御賞味の程御願ひ申上候
割烹 旅館 住吉屋本店
電話一五九番

是非!
御融通には御利用下さい
萬事便利な御相談に應じます
三井質店
平四・電六〇六番

透明障子紙
意匠登録 第六三〇七八號
本品は室内用、室外用の二種あり
室内用は張方従来の通り生熟糊にてよろし
室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし
本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具備す
雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外用は平氣なり
現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル)
◎定價
室内用 六十錢
室外用 八十錢
平田町四丁目
夕伊勢屋 阿部商店
電話四五番
◎賣弘め中粗景手拭一本呈上

内科
川井内科診所
川井安子
平田町(電話二四三番)

月曜是非

中等教員野球

別項社告の通り本社は、来る明治節の佳節に、体育...

近代日本のスポーツ界に於ける野球の占むる重要位置は...

平町に於いても先般の中等學校野球大會に於ける平商の健闘振り、且つ縣下に...

解と同情とを必要とする、此處に今回の大會の意義を有すと共に...

尙ほ、もの旺んなる時弊害または是れに附随して起るものであり、野球試合にも...

本社は當地方に於ける本年掉尾のスポーツ界を飾る此の舉に、更らに一段の光彩を添え得べき様、敢えて...

社告

愛讀者各位の絶大なる御支持の裡に本紙は來月一日を以つて紙齡十二年を數へんとする爲め...

常警毎日新聞社

昭和九年十月

凶作時の

社會物議に

早くも特高課が手を廻して對策

今年度の凶作を見越す縣警察部は昨十四日平署を筆頭に濱三郡下の植田、四倉、中村、富岡、原町、浪江の七署特高課員三十名を平署に招集、縣特高課佐久間警部...

等に就き協議を遂げた

連勝の野望成らず

石城・恨を呑む

二點の差で相馬に勝を譲る 昨日の縣下青年對抗

十四日午前八時より相馬郡中村町馬陵城跡グラウンドに開催された第十一回縣下青年體育大會に出場せる前年の優勝團石城郡選手卅餘名は優勝兜優勝旗を擁して...

四倉繭市

けふ閉場

四倉繭市場昨十四日の取引は總數二百二十九貫七十匁最高卅一圓二十錢、最低廿圓、朝廿九圓二十錢で前日に比し一躍四圓九十錢と云ふ高値にブリ返したが同市場では各農家の晩秋蠶も愈々品薄となつたので市場取引は本日をも以つて閉場する事に決定した尙晩秋蠶開始以來昨日迄の累計は一萬三千九百八十九貫九百二十匁...

軟式野球大會の

組合せ抽籤決定

既報來る十七日開催される平町軟式野球協會主催町内軟式野球大會の主將會議は十三日午後七時からマルトモホールに開き第一回戦の組合せを抽籤の結果左の如く決定した

- △磐中球場 青一五丁目 磐一球場 白線 鐵官一役場 平消防三丁目 平商球場 三丁目 三振平 鐵 一丁目 城山 第三球場 鳳志一遊木 三友一土木

平第二校選手

既報來る二十一日磐中グラウンドに於て開かれる第三區平町外十三校兒童競技會に備へ目下練習中の平第二小學校は本日出場選手を左の如く決定した

- △五十米(五年)鈴木光子 根岸トキ子 花澤アヤ子 △百米(六年)渡邊イノ 長瀬喜美 松本千代(高一) 會澤ヨシ 菊長キヨ

本多教諭告別

平商は本日午前九時より過般退職された本多教諭の告別式

平署選士出發

本縣代表として晴れの全國武道大會に出場する平署鈴木忠正師範(劍道)草苜長三郎二段態田義春三段(柔道)の三選士はけふ午前福島に向けて出發同市で一週間代表諸選士と合宿練習の上東京の全國大會に出陣の筈

國防婦人役員會 國防婦人會平町分會ではけふ役員會を開きそれ役員に辭

田町S牛氏に、御注意感謝します、今後貴意を奉じて注意します(係記者) 令を手交更に詳細なる運動方法に就き協議を行つた

小麥販賣

今後も一二回 既報石城販賣利用組合は既

刑事と偽り

密會の女を脅かす

新聞記者迄ダシに使つて

散々弄んだ揚句金を絞る

遂に捕はれた色魔

刑事と偽つて弱点を持つ九娘の貞操を弄び數回に亘つて金銭を恐喝した兇惡な色魔が平署に檢舉された。この男は平町正月町居住草野村下神谷生れ無職坂本信之助(三九)で去る舊盆十六日夜平町鎌田附近

新川堤の暗闇で人眼

忍んで平窪村の青年某と密會中の神谷村大字鎌田指物師某の妹田村はな子(一九)假名を捕へ「俺は平署の刑事だが……」と脅迫、その後弱点につけ入りはな子を誘ひ出し前後五回に亘つて貞操を弄びその都度

小遣錢を要求、合計

十一圓二十四錢を恐喝した上更に去る七日女の實兄の許に

お前の妹の不始末が新聞記者に知れた、買収費として四圓九十錢を十三日夜七時半までに平郵便局前まで持参せよ、違反すると新聞に書立てられて戸籍にきすがつく
等と出鱈目を並べた脅迫状を送つたので蒼くなつた女の兄は平署に泣込んだ爲め

同署では

郵便局前へ指定の日時に大谷刑事を張り込ませ色魔信之助が實兄より五圓札を受取り逸早く逃走せん

故大町翁の

遺族を迎えて

籠場の瀧の歌碑除幕式

〔既報〕秋、紅葉の名所川前村夏井川溪谷籠場の渡しに建設中であつた一世の文豪大町桂月の會遊記念碑は来る二十五日竣功するので發起人側では來月三日明治節の佳辰を卜し盛大なる建碑除幕式を舉行することになつたが當日は同溪谷附近一帶は早くも霜に映えて紅葉の見頃となる見込みでこの地空前の盛況を呈するものと豫想され平野及び地元青年團は早くも協賛會を組織して觀迎の準備に忙殺されてゐる

碑は高さ七尺、巾四尺五寸厚さ一尺五寸、重量千餘貫の左大天然石で表



明日のラジオ
十六日
今夜も明日も北西の風天気好し

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 名作物語「黄金丸」東京放送児童研究會
- 後六、二五 基礎英語講座 (十四) 岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「鐵道記念日に際して」鐵道大臣内田信也
- 後八、〇〇 東海道演藝道
- 中(第六夜)神説 初瀬浪子
- 後八、五五 映畫劇「建設の人々」第一映畫社 鈴木傳明 外大勢
- 後九、二〇 時報ニュース 氣象通報 番組豫告
- 明日の部
- 前六、三〇 基礎獨語講座
- 警中球場で舉行十五對三 法曹團大勝

黄金時代も他處に

小炭礦悩む

經營者が夜逃げ

坑夫等不穩の形勢

内郷村大字宮東日本炭礦は最近まで泉村佐藤清氏が經營中の處經營苦に迫られて遂に礦主である東京市本郷區駒込町神明徳成虎雄氏に權利を返却することになつたが同礦は従業員二十四名に對し八百圓の給料不拂があり之を苦慮した佐藤氏が

居ながら貯金

平局から係員が出向く

既報團體貯金の奨励に盡力中の平郵便局は近く新しい試みとして一族中に五、六名の加入者がある場合は局から係員を派して貯金の一切を親切に處理せしめる事になつたので今後加入者の多い家族では居ながらに貯金が出るわけなので相

- (一五) 岡本修助「阿含經」(二) 友松園語
- 後一〇、三〇 婦人藝術講座 (十一) 工藤 三津田信夫
- 後一〇、〇五 琵琶「新曲白虎隊」君塚範隆
- 後一、五〇 野球試合實況豫備日
- 後二、〇〇 家庭講座「精神分析の語」醫學博士 早坂長一郎
- 後五、三五 講演「健康週間」に就て「宮城縣衛生課長 北條光丸
- 後六、〇〇 子供の時間 名作物語「黄金丸」(三) 東京放送児童研究會
- 後六、二五 英語講座 (三) (三) 岡田哲藏
- 後七、三〇 講演「アレキサンダー國王の崩御と國際政局の動向」法學博士 芦田均
- 後八、〇〇 ラヂオ風景「奥の細道」に聴く日R放送部
- 後八、三〇 管絃樂 日本放送交響樂團
- 後九、〇〇 常磐津「釣女」常磐津三東勢太夫
- 宇治巡り 小督の曲

曾我氏送別會

郡下の退職訓導中恩給を受けて居る人々よりなる「昭和會」では近く郷里に居を移す曾我直治氏の爲に今十五日午後二時から平町八幡小路學生館で送別會を開いた

法曹團の將棋

平法曹團は来る十一月三日裁判所會議室に於て明治節學式後會員の將棋大會を催はす

盜人の晝寝

松ヶ岡公園のベンチに

當時住所不定無職權太豊原町生れ紺野一男(二)は去る十一日平町材木町地内から自轉車一臺價格十圓を窃取乗逃げ昨十四日松ヶ岡公園で假睡中を舉動不審で平署草野刑事に逮捕された

裁判所たより

△勿來町大字四澤字向三自動車運轉助手秋元徳次郎(三)は去る二月二十七日平

けふの義捐金 けふ平町役場に提出された關西義捐金は搔植小路區の四十一圓〇八錢であつた

近新音頭

田邊南龍(作)
山本芙蓉(書)

一五九:

目黒へも別れに
「コレ、何だ、失禮な事を云ふ奴だ、何誰がお出でになつたのだ」
「井桁といふ人がお出で奉りましてございます」
「何が奉りましたか、井桁……」

長兵衛ふと胸に浮んだのは、丸に井桁は平井権八の定紋、さては別れに來たのであらうと早くも察しましたから
「さうか、此方へお通し申せ、何れかぶり物をしてお出なさうが、その儘お通し申せ」
「ア、さうですか、差支へござんせんか、旗本の廻し者ぢやアありませんか」
「大丈夫だ、此方へお通し申せ」

店へ出て來て、ガラ〜と戸を開け
「サアお入んなすつて、成程かぶり物をしてゐるな、どうか被り物の儘お通り下さい、風邪をひくといけませんから」
餘計な事を云つてゐる、長兵衛は権八を己の居間へ招じ、人を遠ざけ
「平井さん、どうしなすつた」
権八頭巾を取つて平

伏をして
「元締、お懐しうございませす、御無沙汰を致して申譯がございませせん」
「平井さん、能く之まで無事でおなすつたな、日外大阪の町奉行へ自訴をして出

ふ噂を承はり、天王寺屋までお尋ね申した處、何か急用にて江戸へお戻りと聞き是非生前に一目お目に掛りたく存じました、何分詮議の厳しき身の上、尋常では江戸へ下る事が出来ません故、偽りの自訴をいたし藤澤の宿にて役人を欺き細抜けを致して江戸へ参りましたが、何分御詮議が厳しく、御宅へ上る事も出来ません故、一旦出家となり田端のさる寺に匿れてをりましたが、此頃相成つて、



て、江戸へ送られる途中、藤澤で又籠破りをしたとかいふ話を聞いたが、何でそんな事をおしなすつた」
「ハイ、お上を欺き罪を重ねるのも申譯のない事だと存じましたが、大阪へ元締さんがお在なつてゐるとい

いよく犯せる罪科の恐ろしく、自訴いたして御處刑を頂かうと覺悟いたしました故、役人の眼を忍び、漸く今夜お尋ねいたし、幸ひ元締にお目に掛ります上は少しも心残りはございませせん。明朝御町奉行へ

自訴いたして御處刑を受けます」
「ア、さうですか、過ぎ去つた事はもう咎めても仕方がない、お前さんと私とは不思議な御縁で心安く致しい、御主人でも見つけて御世話をし、生涯親類交際をしたいと思いますをりましたが、それも今は水の泡となりました、私も長い壽命のない身の上、といふのは豫てお前さんも知つての通り我々町奴と旗本衆との不仲から私が上方へ行つた留守中、枝の仁兵衛は旗本達の爲に無残の最期、之まで我慢に我慢をしてゐたが、モウ堪忍袋の緒が切れた上、今、日光に行つてゐる水野をばじめ、近藤、池田の奴輩が歸つて來たら、片ツ端から殺つて了ひ、我々一同も斬死をする覺悟です」
「遅かれ早かれ冥途へゆく身體、今度遣ふのは地獄の何丁目かでござんせう」

自訴いたして御處刑を受けます」
「ア、さうですか、過ぎ去つた事はもう咎めても仕方がない、お前さんと私とは不思議な御縁で心安く致しい、御主人でも見つけて御世話をし、生涯親類交際をしたいと思いますをりましたが、それも今は水の泡となりました、私も長い壽命のない身の上、といふのは豫てお前さんも知つての通り我々町奴と旗本衆との不仲から私が上方へ行つた留守中、枝の仁兵衛は旗本達の爲に無残の最期、之まで我慢に我慢をしてゐたが、モウ堪忍袋の緒が切れた上、今、日光に行つてゐる水野をばじめ、近藤、池田の奴輩が歸つて來たら、片ツ端から殺つて了ひ、我々一同も斬死をする覺悟です」
「遅かれ早かれ冥途へゆく身體、今度遣ふのは地獄の何丁目かでござんせう」

中村 齒科 醫院
平町銀治町七

米國製劑皮膚病良藥
レメドール
子宮あたゝめぐすり
宮 温湯
丹波博士創製セキドメ
たんほあめ
靈藥ムテキ
平町古銀治町一〇

小學生用(長ズボン付)
A.....90.00
B.....1.10.00
特製品.....2.35.00
中學生用
特製6號.....3.50.00
御注文(特上).....6.30.00
ふかや洋服店 平電203

黒小倉通學服賣出

一望秋色
さあ御召替です
かかやには皆様の御満足の得る品が何時も澤山揃へて御座います

開業御披露奉仕

お酒に三品(外に口取)
永年谷口樓でお得意様の御用を勤めました、が今回左記の通り開業致しました。何卒御ひるきを願ひます。
平町新田町
三日 松 富
開業 電話二四七番

魂の入った 機關銃印の自轉車

日章旗の如く輝く特長
一、全部鋼鐵、特種壓搾製
二、自働注油、防水防塵、裝置
三、ヘット及びホークのスプリング作動
斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通通車の五倍以上。而かも悪路でも振動を感ぜず。その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります。
機關銃印の自轉車(宣傳中) 五十八圓
戰車の如く頑強だと御評判を賜りました
フタバ式超重量用リヤカー(宣傳中) 廿五圓
永年修繕費のかゝらぬ
兩車の御利用を切に御願ひ申上げます

康藥舖
縣社ノ下 電話四四番

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次
日本齒科醫學士 西川 誠
一、齒科一般 保存科補綴科 繼續架
一、工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一、口腔外科 一、レントゲン科
平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番